

情報処理サービス業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	14～15	現場における集中監視にかかる電話回線の故障調査作業中に道路を横断していたところ、雪の塊上で足を滑らせ転倒し負傷した。	56	—
2	17～18	会社駐車場にて、退社し建物を出て自家用車に向かって歩いていたら、路面が凍結しており転んで頭を打った。	55	10～29
2	9～10	出張中、宿泊先のホテルから客室に向かう路上（歩道）で歩行中に凍結した路面で滑って転倒し、右脛を骨折した。	26	500～999
4	13～14	第三会議室において業務中、洗面所で滑って転倒し、左側上肢（ひじ関節）をついて骨折し、同時に下の前歯が欠け、口の中を傷つけた。	65	500～999
5	7～8	通勤のため、自家用車にて会社敷地内の駐車場に到着し、降車の際にバランスを崩して仰向けに転倒し、後頭部を地面（アスファルト）に強打した。	44	300～499
9	12～13	ビル清掃作業中、屋上にて干し物を片付ける際の移動時（両手は空）、屋上配管をまたぐ橋脚台座部分につまずき転倒、床面コンクリートで顎を強打した。	68	100～299
10	21～22	依頼された研修会（ロールプレイ大会）に参加の為、開催されるホテルに前日に宿泊。露天風呂に入ろうとした際滑って、風呂へと入る階段に尾てい骨を強打、転倒、骨折していた。	50	1～9
		会社の備品購入と郵便局に行った帰り、高層マンション沿いの歩道で、追い風がふき、3回転し地面に叩きつけられ、歩道から車道に投げ出され、向かい側の歩		

12	11~12	道まで飛ばされた。爆弾低気圧が来ており、駅前の街路樹が倒れたり、美容室の窓ガラスも割れるなどの被害も出た。高層マンション横の歩道でビル風も加わり、突風であおられた模様である。	24	1~9
12	12~13	自宅から職場への通勤途中、会社敷地内において、何らかの不可抗力により転倒するなどして頭部を強く打ち（原因については調査中）、会社までたどりついたが、入社直後に社員通用口で蹲っていた被災者を他の従業員が発見し、救急車で病院に搬送した。病院での検査の結果、右頭部脳内のくも膜下出血であった。  （原因は転倒により頭部を強く打ったためであり、従前からの要因ではないとのこと。）	36	50~ 99
12	11~12	自席でPC作業中、水分補給のため執務室のドアへ向かったが、体調が急に悪くなった。職場のメンバーに体調不良を伝え自席に戻る途中、ラテラル書庫に寄りかかった際に意識を失い、その場に倒れた。その衝撃で左大腿骨転子部を骨折した。	26	1000 ~ 9999
12	15~16	被災者の就業先であるビルの1F玄関ドアの外側にある、鉄板製の上りスロープにて発生した。休憩中に外出先からビル内へ戻る際、スロープを上っていた。被災当日は、雨が降ったり止んだりしており、スロープが濡れていたため、歩いて上っている途中、被災者は足を滑らせ転倒し、左膝を強打した。その後、被災者は痛みを感じていたものの、一旦業務（電話受付業務）に戻ったが、同日夕方、左膝が腫れ、痛みが酷くなったため上長へ申告し、タクシーで病院へ行った。検査の結果、左膝骨折にて約1ヶ月の治療が必要との診断を受けた。	57	50~ 99

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to：[https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)